

第四十回帝國議會  
衆議院

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正七年三月九日午後一時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

小山田 信藏君

岡田

榮君

奧村三樹之助君

神谷 卓男君

北井

波治目君

横山 勝太郎君

加藤 定吉君

西村

正則君

上村 耕作君

出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府  
政務總監

山縣伊三郎君

朝鮮總督府參事官 大塚常三郎君

朝鮮總督府事務官 河内山樂三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案

○委員長(小山田信藏君) 是ヨリ開會致シマス、政府委員ノ方デ本案ニ對スル說明ヲ願ヒマス

○政府委員(山縣伊三郎君) 大體ニ付テ申上ケマス、本案ニ付キマシテハ過日本會議ニ於テ有松政府委員ヨリ理由ヲ申述ベマシタ通り、本案ハ至テ簡單ナモノデアリマシテ、唯今私が申上ケルノモ 右ノ趣旨ヲ繰返スヤウナコトデアリマス、是ハ御承知ノ通り統監府時代ニ於テ、統監府及其所屬官吏又ハ朝鮮ノ政府ニ仕ヘタル朝鮮人官吏ノ恩給、其他退隱料ニ關スルモノデアリマス、御承知ノ通り是迄此併合前ニ官吏トシテ居ッタ者ハ、今日引續イテ在職シタル者ニハ之ヲ通算セヌコトニナツテ居リマス、然ルニ併合前ト雖モ統監府ガ置カレタ以來ハ、韓國政府ノ官吏ト雖モ均シク統監ノ指導監督ノ下ニ職務ヲ執ツテ居ッタ者デアリマス、是等ノ者ニ其時代ノ在職年數ヲ通算スルト云フコトハ、至極當ラ得タルモノデアラウ、斯ウ云フ趣旨ニ依テ今回此案ヲ提出致シタ次第デアリマス、大體ノ趣旨ハ右ノ通りデ、尙ホ詳細ニ付テハ御尋ニ依テ御答スルコトニ致シマス

○岡田榮君 一寸伺ヒマス、朝鮮人デ統監府又ハ其所屬官廳ニ在官シテ居ッタ者ナラバ、是ハ日本ノ官吏デアルカラ、之ニ恩給ヲ其當時ノ年限ヲ加ヘテ給スルコトモ相當カモ知レマセウガ、朝鮮人が併合前朝鮮政府ニ仕ヘテ居ッタ其事柄ニ付テ、併合ト云フ事ヨリ遡ラテソレニ恩給ヲ給スルコトニナルト、餘程範圍ガ廣クナルノミナラス少シ事理ニ反スルヤウナ事デハナイノデスカ

○政府委員(大塚常三郎君) 舊韓國政府時代ノ官吏ガ韓國政府ニ仕ヘタ時期ヲ恩給ニ通算スルノハ、事理ニ反シハナイカト云フ御尋デアリマスガ、一應御尤モナ次第デアリマス、本法ニ於キマシテ通算スベキ期間ハ、統監府ヲ置カレテ後ノ期間丈ヲ通算スル次第デアリマス、統監府設置後ハ實質ニ於キマシテハ、朝鮮政府ト申シマスノハ、日本政府ノ指導監督ノ下ニ在リマシテ、殆ド日本ノ爲ニ働イタト云フコトニ、見様ニ依テハ見ラレマス、モウ一ツハ日韓併合ナルモノガ特殊ナ事情ヨリ出マシタモノデ、當時

ノ宣言書ニモ協約ニモ韓國政府ノ權利義務ハ一切日本ガ繼續スルコト云フヤウナコトガ書イデアリマス、詰リ朝鮮人が朝鮮政府ニ仕ヘタ其爲ニ酬ユル必要ガアルノハ、日本政府ガ之ヲ酬ユベキ性質ヲ持ツテ居ルモノト云フ 風ニ見ラレル次第デアリマス、是ハ統監府設置以後ニ於キマシテハ統監府ノ官吏デア、舊韓國政府ノ官吏タル身分ヲ有ツテ居ル者、其形式如何ニ依ラズシテ實質ニ依テ日本ノ爲メニ働イタト云フヤウナ點カラ見マシテ、之ヲ通算スルコトニ致シマシタ

○岡田榮君 韓國政府時代ニ恩給法ト云フモノガ韓國政府ニアッタノデスカ

○政府委員(大塚常三郎君) 韓國政府時代ニハマダアリマセウ

○岡田榮君 韓國人が自己ノ政府ニ官吏トナツデ、其自己ノ政府ハ恩給ト云フ制度ガ無カッタ、恩給ノ義務ガ無い、其無いニ拘ラズ日本ニ成ツタカラト云フテ權利義務ノ承繼カラ當然之ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、ドウモ解ラナイヤウニ思ハレマス

○政府委員(大塚常三郎君) 韓國政府ノ權利義務トシテ恩給ヲ給與シナケレバナラヌト申シタノデハナイノデアリマス、唯、當時併合ノ趣意ガ韓國政府ノ事務ヲ一切引繼グト同時ニ、政府ノ義務ヲ引繼ガナケレバナラヌト云フコトカラ見マシテ、朝鮮人ニ對シテモ日本官吏ト同ジ様ニ朝鮮人が朝鮮政府ニ仕ヘタノハ日本人ガ日本政府ニ仕ヘタト同ジ様ニ保護ノ途ヲ講ズルガ、日本政府ノ義務デア、法律上ノ權利義務ト云フ次第デハナイ、サウ云フ責務ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ點カラ致シタノデアリマス

○岡田榮君 前ニ朝鮮政府ノ時代ニ恩給ヲ受ケル官吏デハナカッタ間ノ事柄モ、日本デ取ツタカラ遡ラシテヤラウト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(大塚常三郎君) サウデス

○岡田榮君 其範圍ハドノ位ノ範圍デスカ、年限ガ何處迄遡ッテ來ルノデスカ

○政府委員(大塚常三郎君) ソレハ二條以下ニ書イデアリマス、詰リ統監府ガ設置サレテソレガ朝鮮ニ於テノ事務ヲ開始シタ其以後ノ在官デス

○横山勝太郎君 大體承ツテ置キタイト思ヒマスガ、要スルニ此法案ノ目的、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、此法案ヲ御提出ニナリマシタル 眞意ハ那邊ニ在ルカト云フコトヲ承リタイ、素ヨリ韓國政府ノ官吏タリシ者が今猶ホ日本帝國ノ官吏デア、此故ニ日本ノ官吏同様ノ待遇ヲ與ヘルト云フ趣旨ハ素ヨリ異存ハナイノデアリマスガ、今日迄異ナリシ待遇ヲ與ヘテ居ッタ者ニ對シテ、今日突如斯様ナ優遇ノ途ヲ開キ日本官吏ト同様ナル待遇ヲ與ヘル途ヲ開クト云フ事ノ必要、若シハ 目的ハ那邊ニ在ルカト云フコトニ歸著スルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ事ヲ常ニ承ツテ懸念シテ居ル者デアリマス、韓國併合ノ前後ヨリシテ韓國ノ君主若クハ官民舉ゲテ日本ノ官憲ニ反抗シ、日本國家ニ反抗シ、日本國民ニ對シテ惡感ヲ懷イタト云フ事實ハ、政府委員モ御認メニナツテ居ルコト、考ヘマス、之ガ爲ニ御承知ノ如ク伊藤統監ニ於テハ、我が大日本帝國ノ重臣デアツテ而シテ韓國併合ニハ與ツテ力有リシ我が日本ノ最も重要ナル地位ヲ占メテ居ラレ、明治ノ元勳デアツタノデアリマス、斯ウ云フ人ニ對シテ韓國人ハ實ニ許スベカラザル行爲ヲ致シマシ

テ、アノ不祥事ヲ哈爾賓ノ原頭ニ見タト云フ事實ハ、今尙ホ吾々ノ記憶ニ明カニ遺ッテ居ルノデアリマス、其他其後ニ於テ朝鮮ノ統監トナリシ人々、若クハ統監府ノ重要ナ位地ニ在ル官吏ニ對シテハ、非常ナル保護ヲ要スル、護衛ヲ要スル、憲兵ヲ用ヒ巡查ヲ用ヒ、或時ハ軍隊ヲ以テ保護シナケレバナラヌト云フ狀態ニ相成ッテ居ルノデアリマス、此事柄ハ素ヨリ今ノ朝鮮人デアル所ノ官吏其者ガ惡イト云フノデアリマセヌケレドモ、幾千萬ノ朝鮮ノ人民タル者ハ、官タルト野ニ在ルトヲ問ハズ、我が日本皇帝陛下ニ對シテ忠順ノ義務ヲ守ラナイ、而シテ官吏テニ不軌ヲ企ツル、是故ニ日本内地ニ於テハ想像ノ出來ナイヤウナ護衛ヲシ保護シナケレバナラヌト云フコトニ於テ居ル事柄ハ、我が日本ノ新植民地ニ對スル統治權ノ效用ノ狀態カラ考ヘマシテモ、私ハ甚ダ心配ニ堪エヌノデアリマス、殊ニ此頃ハ御承知ノ如ク朝鮮ノ世子ニ對シテハ、我が日本、皇族ノ御一方デアルトコロノ女王殿下ヲ降嫁セシメラレテ——降嫁ト言フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、詰リ結婚ノ御約束ガ出來マシテ、サウシテ實ニ皇室ト言ハズ官吏ト言ハズ、我々日本人ハ朝鮮人ニ對シテ非常ナル誠意ヲ表シテ居ルト云フ事柄ハ、我々日本人トシテ固ヨリ之ヲ信ジテ居ルノデアリマス、而シテ是ニ對シテ——此行爲ニ對シテ朝鮮ノ官吏ガドウ云フコトヲ執テ居ルカト云フト、前申シマシタ事ハ無論、吾々ガ數年以前ヨリ開ク所ニ依レバデス、朝鮮ノ官吏ニ於テ我が日本ニ對シテ忠順ノ義務ヲ缺イテ居ルト云フ者ガ澤山アル殊ニ其一部ハ刑事ノ事實トナッテ裁判法廷ノ問題トナッテ居ルト云フコトモアリマス、併シナガラ何月何日ニ如何ナル者ガドウ云フ事件ヲ起シタト云フ事ハ私ハ聞キマセヌガ、サウ云フ事柄ヲ仄カニ聞イテ居ルノデアリマス、殊ニ疑ナキ事柄ハ、朝鮮ノ人民ニシテ幾多ノ秘密出版ヲ企テ、サウシテ日本ノ皇室ニ對シ日本ノ國家ニ對シ日本ノ國民ニ對シテ宥シ可カラザル言動ヲ爲シタト云フコトハ、政府委員モ疾クニ御承知ノ事デアル、其秘密出版ノ一部ハ日本ノ學者ノ手ニ確ニ入ッテ居ルノデアリマス、私モ當時一瞥シタコトガ御坐イマス、而モ今日ノ朝鮮ノ官吏タリシ者ニシテ今日日本ノ官吏ニ對シテ居ル者ニ對シテ、斯ノ如キ優遇ノ途ヲ開カレルト云フコトハ、私ハ考ガナカッタカラ餘リ念頭ニハ置カナカッタケレドモ、今日政府ガ責任ヲ以テ帝國議會ニ斯ヤウナ案ヲ出シテ、サウシテ朝鮮ノ官吏タリシ者ニ對シテ斯ヤウニ優遇ノ途ヲ開クト云フコトニナリマスレバ、此事柄ハ餘程講究ヲ要スル問題デアルト考ヘマス、吾々日本ノ官吏ガ斯ノ如ク誠意ヲ朝鮮人ニ對シテ披瀝スルニモ拘ラズ、彼ハ秘密出版ヲ企テ叛逆ヲ企テルト云フコトガアリトスレバ、是ハ此法案其モノ、問題ハ小サイ問題デアリマスガ、餘程考慮ヲ要スル事柄ト存ジマス、若シ政府委員ニシテ御解リニナリマスレバ、從來公文書ノ上ニ掲載セラレテ居ル朝鮮官吏ニシテ、我日本ノ國家ニ對シ日本ノ國民ニ對シテ平常不當ノ言動ヲシタコトヲ承ルコトガ出來レバ承リタイト考ヘマス、殊ニ此秘密出版ナドニ關シテハ、警視廳ナリ或ハ内務省ニ於テハ無論探究ニナッテ居ルト思ヒマスガ、其内容ヲ聞ク必要ハアリマセヌガ、凡ソ何日頃ニハ斯ウ云フ名前ノ秘密出版ガアッタト云フ位ノコトハ御解リニナルト思ヒマスガ、斯様ナ次第デアリマスルカラ、私ノ考デハ現政府ガ斯ヤウナ案ヲ御出シニナルノハ、朝鮮ノ官吏ニシテ斯ノ如キ事ヲ企テ、居ルト云フコトハ、朝鮮ノ統治上極メテ危險デアリマスルカラ、彼等ニ對シテ所謂懷柔ノ術ヲ現ハシテ、サウシテ大イニ彼ニ對シテ惠澤ヲ與ヘテサウシテ彼ノ官吏ノ我が日本國家若クハ國民ニ對スル感情ヲ柔ゲルト云フ目

的ヲ以テ居ルノデアルカ、ツレトモ唯、單純ニデス、從來韓國政府ニ仕ヘ、又日本政府ニ仕ヘタ者ヲ日本官吏ト同様ニ扱ッテヤルト云フ單純ナ理由ニ過ギヌノデアリマスガ、此邊ノ事柄ヲ私ハ詳細ニ承ハリタイノデアリマス、若シ現政府ノ御意籌ニシテ朝鮮官吏ガ我が日本帝國ニ對シ若クハ國民ニ對シテ叛逆ヲ企テ、若クハ不軌ヲ企テルト云フヤウナ者ニ對シテ、之ヲ緩和シナケレバナラヌト云フ目的デアルナレバ、斯ヤウナ姑息ノ法律ヲ以テ約三千万ノ朝鮮人ニ對シテ統治ヲ完フルコトハ出來ヌト思ヒマス、更ニ大々的政策ヲ立テサウシテ我が國ノ植民政策ヲ樹立スルガ必要カト思ヒマス、此事柄ハ此小ナル法案ニ對シテ、私ノ申スコトガ誇大ニ失スルト云フ御考ガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フヤウナコトヲ此間實見ヲ致シマシタノデアリマス、ツレハ確カ本年ノ一月デアッタ思ヒマス——一月ノ下旬デアッタカモ知レマセヌ、日ハ忘レマシタガ日比谷ニ於テ或者ガ多數集會ヲ催シタ、之ガ警察官ノ察知スル所トナッテ、遂ニ其目的ヲ達シマセナカッタデアリマスガ、此事柄ニ對シテ或議員ハ其處置ノ不當ナルコトヲ衆議院ノ本會ニ於テ、當局ノ大臣ニ質問ヲ致シテ居ルノデアリマス、其中ニ當時警視廳ノ官吏ガ、恰モ日比谷公園ニ於テ運動ヲ致シテ遊シ居ル朝鮮ノ學生ガアリマス、此運動服ヲ付ケタ儘ノ朝鮮學生ヲ警視廳ニ引致致シマシタ、是ハ固ヨリ引致スルノガ惡イノデアリマス、國民大會トカ或ハ急進黨トカニフヤウナモノデアリマシタナラバ免モ角、現ニ朝鮮ノ學生ガ運動服ヲ著ケテ遊シ居ルト云フヤウナ者ヲ拘引シタノハ固ヨリ惡イノデアリマスガ、其惡イ警察官ノ行動アリシ場合ニ、其韓國ノ一學生ガ現ニ斯ウ云フコトヲ明言セラレタ、ツレデ其處ニ居ル者ガ聞イテ居ルタノデアリマス、日本ハ法治國デアッテ自由ナ國デアルト思ッテ居ルタガ、其不自由ナルコトハ朝鮮以上デアル——元ノ韓國以上デアル、誠ニ日本ノ官吏ハ恐レベキ事柄ヲスルモノデアルト、斯ウ云フ事柄ヲ拘禁ヲスルナラバ、我が韓國ニ還ッテ此事柄ヲ官吏ニ告ゲテサウシテ或ル事ヲ企テルト云フコトヲ言フタト云フコトヲ現ニ私ハ耳ニ致シテ居リマス、是ハ何モ朝鮮人ガ惡イノデハナイ、日本ノ官吏ガ檢舉ノ方法ヲ誤ッタガ爲ニ、偶々激シテ爲シタル一人ノ學生ノ言動デアリマスルカラ、餘リ重ヲ置ク必要ハアリマセヌケレドモ、免ニ角日本ノ領土ニ居ッテ日本ノ粟ヲ食ンデ居ル學生ニシテ激シタ場合デアルトハ言ヘ、サウ云フ言動ヲナス今日ノ有様デアリマス、左様致シマスルト今日我が大日本帝國ガ幾十萬噸ノ軍艦ヲ有シ百萬ノ陸軍ヲ有スル我帝國ノ聲望隆々タル際ニ於テ、朝鮮ノコトヲ念頭ニ置ク必要ハアリマセヌケレドモ、印度ノ事柄若クハ其他ノ植民地ノ本國ニ對シテ獨立ヲ企テ西洋若クハ東洋ニ於ケル歴史ヲ參照致シマスレバ、是ハ本國政府タルモノハ餘程考慮ヲ要スルコト、思ヒマス、日本政府ノ眞意ハ何處ニ在ルカ知レマセヌガ、若シ本案ノ目的ガサウ云フ事柄ヲ調和スルト云フコトナラバ、十分講究シナケレバナラヌ、又假ニサウ云フ目的ニ非ズトシテモ、朝鮮ノ官吏ニシテ明カニ我が日本帝國ニ對シテ叛逆ヲ企テ、又日本帝國ノ官吏ニ對シテ不軌ヲ企テ居ルト云フコトデアリマスナラバ、今日此際斯様ナル惠澤ヲ加ヘ懷柔政策ヲ爲スト云フ事柄ハ、却テ朝鮮人ニ對スル威力ヲ示ス上ニ於テ、帝國ノ統治權ヲ行フ上ニ於テハ妨害ヲ爲シハセヌカト云フコトヲ私ハ憂フル者デアリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラシテ、私ハ此法案其モノヲ單純ニ解釋ヲ致シマシテ小サナ法案デアルトシテ看過スルコトガ出來ナイノデアリマス、此法案ノ眞意如何、此法案ノ目的如何ニ依テハ我が日本帝國ノ朝鮮ナル植民

地ニ對スル政策ノ一斑ヲ考ヘルコトが出来ヤウト思ヒマスシ、又之ニ依ッテ將來永ク韓國ニ對スル帝國ノ主權ヲ保持スルコトが出来ルカドウカト云フ問題ニ影響スル事項デアラウト考ヘマス、幸ニ此機會ヲ利用シテ其邊ノ事情ヲ詳細ニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山縣伊三郎君) 唯今ノ御演說ノ趣旨ハ、此法案ニ付テノ御不審ヨリモ寧ロ從來ノ關係ヨリ一ノ御意見ノ方ニ近イヤウニ考ヘラレマスルガ、之ニ付テハ又細カノ事情ヲ私ヨリ申述ベルコトニ致スト、或ハ朝鮮ノ政治上公ニシ得ナイ事情迄申述ベニヤナラヌカト思フノ御坐ヒマス、ソレニ付キマシテ是非ト云フ御尋ナラバ秘密會ニ迄モ願ヒマシテサウシテ細カイ事ヲ申上グレバ、今日ノ事情ガドウ云フ具合ニナッテ居ルカト云フコトガ能ク御解リニナラウカト思ヒマス、此法案ニ付キマシテハ是ハ申ス迄モナク、今日ハ日本帝國ノ臣民トシテ親切ニ人民ハ取扱ハレ、又官吏ハ日本ノ官吏デアリマスカラ其官吏ニハ恩給年數ニ、詰リ統監府時代ニ在ッテ日本ノ爲ニ盡シタ者、又韓國ノ官吏ト雖モ其當時ハ既ニ統監ノ指導監督ノ下ニ働イタ者アルカラ、其在職年數僅カ四ヶ年許リノモノヲ之ニ通算スル方ガ穩當デアラウ、今日ノ併合以來ノ官吏ハ既ニ此恩給法、退隱料法等ニ浴スルコトガ無論出來テ居リマスカラ、其前ノ年數ヲモ之ニ通算スル方ガ穩當デアラウ、斯ウ云フノ此法案ガ出來テ居リマスカラ、唯今御述ベニナリマシタ事柄ト此本案トハ全ク別ニシテ一ノ御研究ヲ願ヒタイ、ソレハ此朝鮮ノ事情ガ今日ドウ云フ風デアルカ、又色々反抗スル者ガアルデハナイカ、秘密出版スル者ガアルデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、唯今申ス通り一ツ秘密會ニデモシテ貫ッテ申上ゲル方ガ、私トシテハ洵ニ都合ガ宜シウ御坐イマス、ドウゾサウ云フコトニ……

○奧村三樹之助君 實ハ私ハ此法案ノ委員會ニ於キマシテ朝鮮ノ統治上ノ問題ト云フヤウナコトヲ論議セラレルコトハ、無論必要デアラウト思ヒマスガ、私共ハ本法ニ於テ斯カル舊來ノ官吏ニ對シテ恩給法ノ恩典ニ浴セシメルコト云フコトハ、無論統治ノ目的ヲ達スル上ニ必要條件デアルト思ヒマスカラ、サウ云フ問題ハ暫ク措イテ、私ハ本法ノ實質内容ニ付テ十分ナル審議セラレルコトヲ希望致シマス、ソレニ伴フテ私ハ質問ヲ繼續致シタイコトガアリマス

○横山勝太郎君 唯今ノ御話ノ順序ノ問題デアリマス、私ハ強ヒテ論争スル譯デアリマセヌガ、私ノ憂フル所ハ斯ウ云フ姑息ナ方法ヲ執ルヨリモモット大ナル政策ヲ立テ、サウシテ根本的ニ朝鮮ノ總督政治ヲヤッタドウカト云フコトデアリマス、政府委員ハ切放シテ研究シロト云フコトデアリマシタガ、先刻私が申シマシタヤウニ朝鮮ノ統治ニ付テハ、斯ウ云フコトハ却ッテ惡イト思フ、朝鮮統治ノ上カラ致シテ現在ノ官吏ノ有様ハドウデアルカト云フコトハ、私ハ深く存ジマセヌガ、現ニ刃ヲ執ッテ凶器ヲ執ッテ反抗スルト云フ趨勢ヲ示シテ居ルト云フ状態デアラナラバ、其者ニ對シテ日本官吏同様ノ優遇ノ途ヲ開クト云フヤウナ事柄ハ必要ガ無イミナラズ、却テ私ハ害ヲ爲スモノト思フ、左様ナ次第デアリマスカラ、若シ政府ニシテ其點ヲ秘密會ニシタナラ御話が出来ルト云フコトデアリマスレバ、サウ大シタ時間ヲ要スルコトデアリマセヌカラ、暫ク諸君ノ御忍耐ヲ願ッテ、サウシテ先決問題トシテ之ヲ解決スル方ガ宜イト思ヒマス、何卒御贊成ヲ願ヒタイ

○政府委員(山縣伊三郎君) 私が秘密會ト申シマシタノハ、朝鮮ノ事情ニ付テノ精

シイ事ヲ申上ゲルノナラバドウゾ秘密會ニ願ヒタイ、ソレカラ本案ニ付キマシテハ是ハ今日引續イテ在職ヲ致シテ居ル所ノ官吏ハ、總テ日本ノ恩給法ニ今日ハ浴スル者デアリマスカラ、唯、其前ノ四箇年ノ在職年數ヲ之ニ通算スルカセヌカト云フ丈ノ事デアリマスカラ、是ハ今ノ秘密會ヲ私が請求シタモノトハ少シク違ヒマスカラ、其點ハ一應申上ゲテ置キマス

○奧村三樹之助君 唯今横山委員カラノ御質問ハ總テ本案ニ付テノ意見デアルト私ハ考ヘマス、朝鮮人ニ對シテ斯ノ如キ優遇ヲシタ所ガ、目下ノ状態ニ於テハ却テ害ガアリハシナイカ、斯ウ云フヤウナ御意見デアリマスガ、先ヅ以テ本法ノ疑義ノアル點ヲ能ク質問ヲ致シマシテ、愈々可否ヲ決スル場合ニハ、横山氏ノ意見ヲ尊重シテ吾々モ拜聽致シマスガ、先ヅ以テ先キニ本法案ノ疑義ノアル點ヲ審查セラレタ方ガ、委員會ノ性質トシテモ順序デアラウト思ヒマス、其方ヲ先キニ御審查アラムコトヲ希望致シマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○横山勝太郎君 進行ノコトニ付テ一言致シマス、ソレナラバ私ハ多數ノ御意見ヲ尊重致シテソレニ服從致シマス、致シマスガ其前ニ其事項ニ關シテ御尋ヲシタイ、ソレハ從來日本政府ニ對シ、若クハ日本ノ官民ニ對シテ叛逆的ノ行動ヲ爲シ、若クハ秘密出版ヲ爲シタル者ガアルコトハ事實ナノデアリマス、ソレガアルトスルナラバ官吏タリシ者ニ於テ多ク之ヲ爲セシカ、又現ニ官吏タル者ガ之ヲ爲セシカ、殊ニ秘密出版ノ如キハ多少文字ガナケレバ出來ヌ事柄デアリマスカラ、單ニ是ハ學生ニ過ギヌノデアルカ、或ハ從來併合以前ニ於テ韓國政府ノ官吏タリシ者、或ハ貴族タリシ者ニ於テヤッテ居ルノガアルカ、此一點ヲ承ッテサウシテ皆サンノ意見ニ服從致シタイト考ヘマス

○政府委員(山縣伊三郎君) 官吏トシテハ斯ノ如キ行動ヲ執ル者ガ今日ハ有リマセヌ、若シ有リトスレバ官吏ノ方ニハ大ニ處罰スル規則モ有リマスルカラ、ソレニ依テ致スノデアリマスルガ、今日迄反抗シテ何ウ斯ウ爲タト云フ者ハ有リマセヌ、ソレカラ是迄色々此國權恢復ト云フヤウナ事ニ付テ秘密團結ナダガ起ッタコトモアリマスルガ、夫等ニ今日迄官吏ガ干與シテ居ルト云フ事ハ無イノデアリマス

○委員長(小山田信藏君) 先以テ本案ニ對スル疑義ノ點丈ヲ御質問ヲ願ヒマス

○奧村三樹之助君 一寸政府委員ニ伺ヒマスガ、本法ニ依テ此恩給法並遺族扶助法ノ恩惠ニ浴スベキ所ノ朝鮮人ノ現在數、及支給スベキ金額ハドレ程デアリマスカ

○政府委員(大塚常三郎君) 恩給法ノ適用ヲ受ケマス人間ハ、今後ノ勤續年數等ニ因リマシテ變化ガアルノデアリマス、未ダ十五年勤メテ居ラヌ人ガ有リマス、ソレデカラ十五年ノ年限ガ來テ居リマセヌ、是等ノ勤續如何ニ因テ數ニ變化ガアリマス、隨テ金額モ變化スルノデアリマスガ、此法律ヲ適用スベキ、詰リ統監府設置後併合ニ至ル期間内ニ居ッタ所ノ朝鮮人全部ガ、ゾット勤續スル者ト看做シテ、而モソレガ十五年ノ勤續年限ヲ經過シテ退職スル者ト看做シテ計算致シマスレバ、朝鮮人普通ノ文官ガ二千四百二十七人、巡查ガ百八十八人、看守ガ二百六十七人デアリマス、ソレカラ金額ノ方ハ退官者ノ歩合、ソレカラ勤續年數、及當時ノ俸給ノ金額等ニ因リマシテ變化ガアリマスノデ、殆ド算定ハ出來ナイノデアリマスルガ、今迄ノ併合後ニ於ケル是等ノ人ノ

退官ノ平均歩合ヲ見積リ、ソレカラ現在勤メテ居ル官吏ノ平均俸給ヲ勅任官、奏任官、判任官ニ區別シテ平均シマス、普通ノ文官ノ方ハ一万三千二百圓、是ハ初年度、即チ大正十年度ニサウ云フ支出ガ要リマス、ソレカラ巡查看守ノ方ハ、此大正七年一月カラ既ニ年限ガ來テ居リマスガ、看守ノ方ハ二千三百二十圓、巡査ノ方ガ千八百三十四圓、本年度ニ於テ是又ノ支出ヲ要スルノデス

○岡田榮君 此明治四十二年勅令第三百十九號、即チ併合ノ時ノ規定ニ依テ見マス「前項ノ官署ニ在勤スル官吏ニ關シテハ舊韓國政府ニ在勤中ト同一ノ取扱ヲ爲ス」トアリマス、韓國政府時代ニ恩給ガ無カッタモノデアルナラバ遣ラナイノガ當然デアル、無カッタ者ニ對シテ日本ガ遡テ遣ルト云フコトハ有ルヨリモ、ヨリ以上ノ效力ヲ與ヘルコトニナルノミナラズ、併合ノ時ニハ其當時ニ於ケル韓國ノ朝鮮人ノ役人ニ對シテハ、夫、過分ナ恩賜金ガ特別ニ出テ居リマス、尙ホ其上ニ此恩給ヲ與ヘル必要ハ本員ハ無カラウト思フ、ソレデ此第一條カラ第六條迄ニ在ル「舊韓國政府ヲ削ルト云フコトニ付テハ御同意ガ出來ナイト云フコトデアリマスガ、若シドウシテモ同意スルコトガ出來ナイト云フ特殊ノ理由ガアルナラバ、徹底的ノ御説明ヲ承リタイ

○政府委員(大塚常三郎君) 明治四十二年ノ勅令第三百十九號ノ規定ニ依リマスレバ「韓國政府ト同一ノ待遇」ト書イテアリマスガ、是ハ此勅令決定得ル範圍ニ於テノ事柄ヲ書キマシタノデ、韓國政府時代ニ恩給ガ無カッタカラ、恩給ハ遣ラナイト云フ程度迄深イ意味ハ無イノデアリマス、元來此法案ノ趣旨ヲ簡單ニ搔擗ンデ申シマス、統監府及所屬官署竝ニ總督府ニナリマシテカラモ、或一定ノ年限内ハ實質ガ官吏デアデモ形式的ノ官吏デナイ、官吏ノ待遇ヲ享ケテ居ッタデアリマスガ是等ハ純然タル日本ノ官吏デアリマス、唯、併合前ニ於テハ日本人タル資格ガ無イ身分ガ無イト云フ點丈デ、恩給ノ通算ヲ享ケナイト云フ結果ニナル、ソレカラ總督府ニナリマシテカラハ、實質ハ官吏デアリマス、身分等ノ違ヒマス爲ニ官吏デナイ、官制ガ出來ル迄ハサウ云フ臨時ノ處分ヲ執ツテ居ッタ爲ニ、恩給ニ漏レルコトニナッタノデ之ヲ恩給ノ年限ニ通算スルト云フコトハ當然ノ事ナデアリマス、今迄寧ろ此法規ヲ拵ヘナカッタコトハ遲レタ位デアリマスガ、韓國政府ノ官吏ト申シマスモノハ、先程申上ゲマシヤウニ、事實ニ於テハ朝鮮ノ併合ニナル迄ニ、第一ニ通信機關ヲ日本政府ガ委任ヲ受ケマシタ、其通信機關ノ職員ハ無論官吏デアリマス、次ニ司法機關ガ委任ニナリ、從テ其官吏ハ日本ノ官吏トナリ、其次ニ警察機關ノ委任ヲ受ケマシテ其警察官ハ皆日本ノ官吏ニナッタト云フヤウナ段取りリテ、形式的ニ日本ノ官吏トハナリマシタガ、其實質ニ於テモ均シク統監ノ下ニ、即チ日本政府ノ下ニヤツテ居ッタデアリマス、之ヲ區別スルト云フコトハ今日ニ於キマシテハ、朝鮮官吏ヲ待遇スル上ニ於テ寧ろ却テ不權衡ヲ來タスヤウナ嫌ガアルノデアリマスカラ、先程申シマスヤウニ、日本政府ハ朝鮮政府ノ事務ヲ引繼イデ其官吏ニ對シテモ其儘引繼イテ來タモノト見ラル、ノデスカラ、朝鮮人ニシテ統監府ノ官吏トシテ、日本ノ官吏トナッタモノト同様ノ取扱ニシタイト考ヘタノデアリマス

○岡田榮君 ドウモ政府委員ノ御答辯ガ私ニ徹底シナイノデスカ、今ノ裁判所ヲ委任シタ、警察機關ヲ委任シタ、通信官署ヲ委任シタ、ソレハ日本政府ガ委任ヲ受ケテ、其所ニ仕ヘタ人間ヲ日本ノ官吏ト同様ノ待遇ヲ與ヘルト云フ、ソレニハ異議ハアリマセヌ

ガ、其當時殘ッテ居タ委任ヲサレナイ純然タル韓國政府ノ仕事ヲシテ居ル、其前カラ其仕事ヲシテ居ル者ト區別ガ有ラウト思フ、是ハ法理上ノ根據ト云ッテ宜イカ知リマセヌガ、免ニ角韓國政府ニ於テ全ク種類ノ違ッタモノデアル、其間ニハ非常ニ區別ガ無ケレバナラヌ、其區別ノ違ッテ居ル者ニ對シテ日本ノ爲ニ盡シテ居タト云フ説明デアリマスガ、決シテサウデハナイ、矢張朝鮮人ガ其朝鮮ノ政府ノ爲ニ忠義ヲ盡シテ居タノデアリマス、其委任ヲシタ以後ノ者ニ付テハ宜イガ、委任ヲシナイ全ク朝鮮政府ノ爲ニ盡シタ其時ノ政府ニスラ恩給ノ制度ハ無クシテ、後カラ其時ニ迄遡ッテ遣ルト云フコトハ、ドウシテモ今ノ政府委員ノ説明デハ了解ガ出來ヌ、デアリマス、之ヲ削ラレタナラバ敢テ金額ニ付テ多イトカ少イトカ、財政ニ影響スルト云フ意味デハアリマセヌガ、是ハ大キクハ申シ惡イカ知リマセヌガ、免ニ角色メノ事ノアル中ニ貪リタガル性質ガアル、例ヘバ朝鮮ノ貴族ノ如キハ特別ナ優遇ヲ與ヘテ居ルガ日本ノ貴族ノ公侯伯子男爵ノ如キハ貴族院ヘ出ナケレバナラヌト云フヤウナコトニナッテ居ル、其他ニ於テ本員等ハ貪ル考ノアルコトヲ聞イテ居リマスガ、此韓國併合ノ際ニ其一段落ヲ著ケル爲ニ、三千万圓ト云フモノヲ財政上ノ特別處分ヲシテ出テ居ル、ソレヲ遣ッテ置イテ尙ホ恩給ヲ出スト云フコトハ重複スルヤウナ點モアリマス、唯、感情ニ於テ同ジ役所ニ机ヲ竝ベテ居ル人間ニ、彼ニ與ヘテ之ニ與ヘヌト云フ感情ノ點ハ多少アルカモ知レマセヌガ、モット深イ根據ニ付テ御答ガ有レバ格別デスカ、之ヲ御削リニナルコトニハ御同意ガ出來ルモノデアアルカドウカ御尋致シタイ

○政府委員(大塚常三郎君) 實際ノ事情ニ付テ一ツ言ヒ落シタ事ガアリマスノデ申上ゲマスガ、併合當時カラ朝鮮人ノ官吏ハ殆ド全部特殊ノ理由ノナイ者ノ外ハ、日本政府ニ於テ其者ヲ引繼イデ官吏トシテ採用シテ居リマス、其中ニハ最早老朽ニナリマシテ殆ド用ヲナサヌ者モアリマス、而モ一方ニ於テハ新ラシク學校ヲ出タヤウナ者ガ澤山居リマス、之ヲ採用シテ相當ノ職ニ就カセルト云フ必要モアルノデアリマス、所デ朝鮮人ヲ撫育スルコトハ併合當時ノ方針ニモナッテ居リマス、今此恩給法ノ如キモノヲ遣リマヒヌト其生活ニモ困難ヲ來タシマシテ、窮民ヲ拵ヘルヤウナ結果ニ陷ルト云フノデ、斯ウ云フモノガ出ルト舊イ官吏ト云フヤウナモノ、改善モ出來マシ、一方ニ於テハソレト先程申シタヤウニ統監府トノ權衡ナドノ點モアリマス、旁、之ヲ加ヘタイト思フノデアリマス

○神谷卓男君 此問題ニ付テ岡田君ノ御質問ハ私ハ尤ト思ヒマス、既ニ日韓併合ノ際ニ於テ三千万ノ金ヲ遣リ、一郡書記ニ至ル迄三百圓位宛ハ皆ナ與ヘラレテ居ルノデアアル、此時ニ金ヲ遣ッタト云フモノハ、要スルニ退官賜金令ニ於テ遣ッタノデアリマス、ソレカラ現ニ之ヲ見マス朝鮮人許リデアリマスガ、此時韓國政府ニ備聘セラレテ居タ日本人ハ特別任用ニ依テ今日迄續イテ役人ヲシテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ應用セラレテ居ナイト云フ意味ハ、其日本人ハ併合ノ當時ニ於テ既ニ一箇月トカ、或ハ半箇月分トカ云フ勘定デ、ソレ丈退職給與金ヲ貰ッタカラ、之ニハ日本人ハ加ヘナイト云フコトヲ言ハレルノデアラウト思ヒマス、サウスルト其意味ニ於テ朝鮮人ニモ退職給與金ヲ遣ッタノデアアルカラ、更ニ恩給ヲ遣ル必要ハ無イト云フ論理ニナッテ來ルノデアリマス、此等ハ矢張日韓併合ノ後ニ於ケル年月ヲ算シテ韓國人ニモ恩給令ヲ適用セラル、コトニシタイト思ヒマス、日韓併合前ニ遡ルト云フコトハ如何カト思ヒマス、ソレニ付テ一寸伺ッテ置キ

タイノデアリマスガ、唯今ノ御説明中ニ此恩給年限ハ十五年ト言ハレタノデアリマスガ、日本人ノ韓國ニ傭聘サレテ韓國ニ行テ居ル役人ハ、十年ニ縮メラレテアル筈デアリマス、サウスルト日本人ト朝鮮人ト矢張待遇ハ別ニナルデアリマスガ、サウ云フ御積リデアリマスカ

○政府委員(大塚常三郎君) 現行法ノ恩給法ノ上ニ於キマシテ、日本人ト朝鮮人ハ別ニナツテ居リマス、此法律ノ有無ニ拘ラズ、現行ノ恩給法ニ於テ、日本人ハ——内地人ハ十年、朝鮮人ハ十五年トナツテ居ルノデアリマス、モウ一ツノ御質問ノ點ガ御坐イマシタガ、元來恩給法ナルモノハ日本臣民デア無ケレバ吳レナイト云フノガ眼目デアリマス、夫ヲ此朝鮮人ニ及ボス、日本臣民タル身分ヲ有セザリシ當時ノ朝鮮人ノ日本官吏ニ及ボシタ、夫ト權衡上趣旨ヲ少シ延長シマシテ、朝鮮人ノ韓國政府ノ時代迄及ボシタノデアリマスガ、斯ウ云フ其多額ノ例外ヲ朝鮮人ノ爲ニ計算シタル、朝鮮人ノ爲ノ此特殊ノ例外規定ヲ又内地人迄均霑サセテ來ルト云フノハ、餘リニ例外ノ適用ヲ擴メ過ギハシナイカト云フヤウナ考カラシマシテ、内地人ハ假ニ朝鮮人ノ舊韓國政府時代ニ於キマシテモ、内地人迄ハ認メナイ方が至當デアラウト思ハレルト、斯ウ考ヘテ居リマス

○神谷卓男君 尙ホ一寸御尋シタイノデアリマスガ、是ニ關聯シテノ御尋デアリマス、將來總督府ニ於キマシテハ、朝鮮人ノ役人ヲ將來多ク用井ル御考デアリマスガ、或ハ漸次日本人ノ役人ノ數ヲ多クシテ行クト云フ御考デアリマスカト云フコトヲ御尋シテ置キタイノデアリマス、夫ハ私ハ朝鮮ヲ去ッテ既ニ五年ニナリマスカラシテ、現在ノ狀況ハ餘リニ知ラナイノデアリマスガ、其當時ニ於テ既ニ役人ガ非常ニ多過ギルト云フコトヲ私共ハ感ジテ居ッタデアリマス、列國ノ例ヲ見マシテモ、瓜哇ニ於ケル和蘭ノ役人ハ五千四百人ニ對スル一人、佛蘭西ノ交趾支那ニ於ケル佛蘭西ノ役人ハ、千四百三十人ニ對シテ一人ト云フヤウナ有様デ、極ク本國ノ役人ヲ使フコトハ尠イノデアリマス、先年臺灣ニ行ッテ見マスト二万五千人以上ノ役人ガアル、サウシマスト臺灣ノ人口ハ三百萬餘有リマスカラ、百二十人ニ對シテ一人ト云フヤウナ非常ナル數ノ日本人ノ役人ガ居ル譯デアリマス、朝鮮ニ於テハ此割合ガドウナツテ居リマスカ、免ニ角朝鮮ニ行ッテ見マスト役人ガ肩肱ヲ張ッテ居ルガ爲ニ、他ノ民間ノ事業家ガ十分ニ驥足ヲ延バスコトガ出來ナイヤウナ憂モ——屢サウ云フヤウナ小言モ聞クノデアリマス、段々ニ朝鮮カラ日本人ノ役人ノ數ヲ減ラサレルカト思ッテ居リマシタ所ガ、サウデ無イ、近頃ハ面ナドト云フモノハ自治體ニシテ、此自治體ニ向ッテ日本ノ役人ヲ段々置カレルト云フコトデアリマス、夫カラ一面ニ於テハ朝鮮人ノ役人ノ數ヲ段々減ラサレルカト云フニ、中ミサウデ無イ、現ニ監察使時代カラ今日長官ニ就カレテ居ル人が尙ホ四五人モ居ル、郡守ノ如キハ全部朝鮮人ヲ使ッテ居ルト云フ有様デアリマスカラ、即チ役人ヲ使フ上ニ於テ、段々ニ日本人ヲ多ク使フ御方針デアリマスカ、或ハ漸次朝鮮人ニ任セテ行クト云フ御方針デアリマスカ、此點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(山縣伊三郎君) 一寸私ハ此場合速記ヲ止メテ貰ヒタイト思ヒマス

○委員長(小山田信藏君) ツレデハ一寸速記ヲ中止致シマス

(此間速記中止)

○委員長(小山田信藏君) ツレデハ是ヨリ祕密會議ヲ開キマス

午後二時三十一分 祕密會

(以下筆記)

○委員長(小山田信藏君) 之レヨリ祕密會ヲ開キマス

○委員長(小山田信藏君) 祕密會ヲ閉ヂマシテ散會致シマス

大正七年三月十二日印刷

大正七年三月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局